

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こども発達支援事業所すずらん(放課後等デイサービス)		2026年2月18日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員を多く配置し、児童発達支援管理責任者も子どもの様子を把握するために、支援に入って対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動室、カバン棚と分かれています。子どもたちがそれぞれの場で何をすればよいかわかりやすくしています。また活動内容や一日の流れをホワイトボードで示していて、子どもたちが今日何をすればよいか視覚的に分かりやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、職員で清掃をしてから子どもたちを迎えています。空気清浄機や加湿器、エアコン等、子どもたちが心地よく過ごせるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調が悪い時、個室で対応できるようにしています。また活動内容によっては個室を使うようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月、ミーティングを行い、今日の活動、子どもの様子、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回初めて事業所の評価を行っていただきました。今後保護者の意向、意見に基づき、業務改善に繋げていきたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見をもとに、2月に業務改善委員会を行います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	利用者処遇向上のため、監査の方に相談・苦情・事故について報告をし、監査をしていただいています。	法人として第三者による外部評価を行っておりません。今後法人本部と協力して進めていけるようにします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			法定研修を含め、オンデマンドでの研修、各種委員会での研修等を行っています。また公開療育の参加、外部の研修の参加をしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		すずらんで行う支援プログラムを作成し、ホームページ上で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		すずらん独自のアセスメント、発達段階アセスメントシートを利用し、保護者のニーズ、課題を分析して、計画を作成します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		アセスメントを行い、児童発達支援管理責任者が計画を作成し、必ずスタッフと一緒に計画の内容、支援方法を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画は必ずスタッフと検討し、スタッフと共有しています。それをもとに毎月ケース会議を行い、支援の内容の検討をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎日、その日のこどもの様子を記録して、ケース会議の場で検討し、支援にあたっています。	標準化されたツールを利用していません。今後導入をしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの観点で、ねらい、支援内容を計画し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、児童発達支援管理責任者が大きな内容を計画し、それぞれの担当が具体的な内容を発案し、活動会議で内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ねらいをもとに、活動を検討しています。月の中でバランスよく活動できるように検討しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの発達段階に応じて、個別活動、集団活動を計画しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		児童発達支援では、朝ミーティングを行って、内容、役割を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動後、記録をしなければならぬため時間がなかなか取れませんが、気になることは報告をし、次の日やミーティングで必ず共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動後、必ず記録をとり、毎月子どもの様子をまとめてケース会議で子どもの様子、支援の内容を検討しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回は、必ず評価をして計画の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		制作活動、課外活動、運動あそび、ゲーム遊び等いろいろな活動を設定して活動をしています。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	○		セレクト活動や活動の間の自由時間を設定し、子どもたち自身で何をしたいかを考え、選択できるようにしています。友達を誘って遊んだり、すずらん内で遊べる遊びを選択したりして、自己決定を育てています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議、関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者と、放課後等デイサービスのチームが参加しています。		
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		子どもたちが通っている小学校や相談支援専門員と連携を取って支援を行っています。また医療機関等で検査等をする際は、こちらの様子を情報提供書にまとめ、情報共有をしています。		
28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		年間行事等は保護者経由でもらい確認をしています。また新1年生が入学当初集団下校の期間はすずらんからスタッフが出向き、一緒に帰るようにしています。また学校から徒歩での通所のため、トラブルがあった際は保護者に連絡をして、学校に連絡してもらったり、また大きなトラブルの際は、学校と直接連絡をとって対応しています。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		こちらから就学前に利用していた施設に連絡をとり、情報共有をしています。相談支援専門員の方からも情報をいただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			車での送迎をしていないため、利用児は歩いてこれる小学校からの子どもたちのみです。そのため、障害福祉サービス事業所での移行はありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		近隣の児童発達センターが開催する研修会に参加しています。	療育をしているところをみての助言や研修を受ける機会はまだありません。今後連携を取ってきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の学童保育と子どもたちと一緒に活動をしたり、課外活動に出かけたりしています。また学童保育と共催で保育園児を招待して、お土産さんごっこを毎年行っています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の研修会に毎年参加しています。鹿児島市は規模が大きいため、協議会に参加することはありませんが、市のホームページに会議の報告書が掲載されているので、それを見えています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎えの時に、保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。ちょっとしたことでも話をすることで保護者の皆様と成長と一緒に喜んで、ちょっとした盛りごとの相談のつたりするようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者と子どもたち、兄弟児と一緒に楽しめるレクリエーションや学童保育と共催で保護者懇談会を開催しています。また外部からのペアレントトレーニングの案内等を情報提供しています。	すずらん独自の保護者への研修を開催していません。なかなか集まる機会が難しいですが、オンデマンド研修を設定するなど工夫して行きたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		1年契約のため、毎年契約時に説明を行っています。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画を作成する前に面談と子どもの様子を見させていただき、保護者、こどものニーズを把握するようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		必ず支援内容の説明を前期、後期に分けて行い、保護者から同意をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別支援計画の面談とは別に、年に3回療育相談会を行っています。またお迎え時に子どもの様子を伝え、保護者の相談に応じます。緊急の時は、きつノートでの相談にも可能な限り、対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母の会はありませんが、親子でのレクリエーションを企画したり、同法人の学童保育と共催で懇談会を行ったりしています。また兄弟児支援として一緒に課外活動に出かけています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談、苦情、要望があった場合は、迅速に上司に報告し、対応しています。またスタッフにも共通理解を図っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、すずらん通信を発行し、きつノートでの配信、ホームページ上に掲示しています。	インスタグラムを法人と一緒にしていますが、なかなか更新ができないところです。SNSの更新が不慣れですが、学んでいきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報公開については保護者の同意を得て、写真等気を付けて掲載しています。また個人記録等は鍵のかかる棚に保管をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		きつノートを活用し、保護者との意思疎通や情報伝達をしています。不安感がある方の返信は、なるべく早く返信するようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年度初めて、同法人の学童保育と共催で学童祭を行いました。町内会や地域の保育園等に案内を配布しました。	まだまだ地域の方に認知していただくには時間がかかりますが、継続して開催していきたいと思っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、訓練を行っています。特に、事業所の場所が土砂災害警戒区域内にあるため、別途計画を立てて訓練も行っています。マニュアルは手に取れるところに置いてあります。	保護者への周知がまだ十分ではないため、毎年の計画の時に内容の説明をしたいと思っています。
非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、訓練をしています。	まだ備えが十分ではないところもあるため、今後検討していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、たんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年、契約時に児童カードの裏の健康カードに、保護者に記入してもらい、確認をしています。緊急時に対応できるように、縮小コピーをして避難持ち出し袋にも入れています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			現在食物アレルギーの子どもは在籍していません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		保育園の避難訓練に参加をしています。	児童発達支援独自の避難訓練を今後検討していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		何かあった場合は、きつノートや電話での連絡をする旨を契約時に話しています。	保護者の周知が十分ではないところもあるため、今後検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットのシートを用意をし、ヒヤリハットがあった場合は記入してもらい、ミーティングで検討をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回、虐待防止・身体拘束禁止委員会を行い、その月にはスタッフは必ずオンデマンド研修を受け、レポートを提出しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関しては、やむを得ない場合に限り行うかもしれないことを、個別支援計画の説明の際と一緒に説明をして保護者の同意をいただいています。	